



# 中小企業が「今」の時代に対応するヒントをCSRの視点から見つけてみませんか？

今、時代は大きな転換期にあります。

「これまで通り」では立ち行かない時代。  
これから私たちの働き方、暮らし、価値観はどう変わのでしょうか。  
変化に強い企業になるために中小企業や小規模事業者は、  
どう対応していくと良いのでしょうか。

## 1 例えば、こんなことを考えたり、感じたりしたことはありませんか？

**人材** の課題  
社員の価値観や背景にある環境が多様化している。

**顧客** の課題  
環境や社会への影響を意識する消費者・取引先が増えている。

**事業** の課題  
この先10年続けるには業種・業態の変革が必要だと思う。

## 2 では今、社会はどんなふうに変化している？

- SDGs(※)が注目され、ビジネスを通じて社会課題を解決しようと取り組む企業が増えています。
- 応援消費(※)など「共感」「支持」という気持ちでお金を使う、社会や環境への影響を意識してものを選ぶ消費者が増えています。  
※応援消費…人や商品、企業、地域などを応援するためにお金を使うこと。
- 最近の就活生はライフスタイル重視。社会的意識も高く、就職先を選ぶときに企業の社会貢献活動を重視する学生が増えています。

## 3 中小企業や小規模事業者にもできることはあるの？

変化し続ける社会に企業が対応するためには、経営全体をCSRの考え方で見直すことが有効です。「CSR＝大企業のもの」という印象を持たれがちですが、中小企業だからこそできるCSRがあります。

## 4 CSRって何？

- Corporate Social Responsibilityの略。「企業の社会的責任」と訳されます。
- 企業が利益だけを追求するのではなく、地域と共生しながら持続可能な成長を図るために、社会や自然に与える影響に責任を持ち、社会がよくなるよう努力する企業行動のことです。
- CSRは、変化しつづける時代への「企業の社会対応能力」とも解釈できます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
世界を変えるための17の目標

※SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)とは、国連サミットで採択された2030年までに世界を変えるための目標。現代の社会課題を知ることができます。



経営課題の解決につながった CSR事例 裏面へ続く

「CSRに取り組みたい！」

と思ったら、まずはこちらへご相談ください！

# 経営課題の解決につながった「CSR事例」

事例

1

## CSR活動を通じて働きがいをつくる“離職者ゼロ”の職場

### ●株式会社杉山設計事務所

(愛知県名古屋市中区/橋梁設計/社員14名) <http://www.s-pec.jp/>

「三方よし」の事業展開を大切にしている同社は「買い手よし」「世間よし」を実現するためにまず社員満足度を高めること(売り手よし)を重視しています。社員みんなが働きやすい環境づくり、個々のスキルアップの応援だけでなく、CSRの社内浸透にも注力しています。例えば、社員全員によるCSR勉強会の開催、地域活動への参画、CSR活動のふり返り報告書の作成などです。CSRを学んだり、社外と接したりする経験は社員の視野を広げ、活動のふり返りは自社の存在意義を見つめ直す機会にもなります。このように社員と共に学び、共に育とうとする姿勢は人材の定着にもつながっています。

☞ポイント “みんなでCSR”が愛社精神に 社員とともにCSRに取り組めるのは、小回りが利く中小企業ならではの強みです。一人ひとりの価値観、働き方を尊重し、社会とのつながりを感じる機会を持つことから「働きがい」「愛社精神」が生まれています。



社内でのCSR勉強会の様子。同社の大半は女性社員。有給休暇100%取得を推奨するほか、研修参加や資格取得費を全額補助、ボランティア休暇なども設けている。

事例

2

## 顧客の声を聴き、地域課題を商機に変える

### ●吉野川タクシー有限会社

(徳島県徳島市/タクシー会社/社員16名) <http://yoshinogawataxi.com/>

厳しい状況のタクシー業界で、新サービスを生み業績をV字回復させた同社。まずは地域における自社の役割を見直し「移動に課題を抱える人は誰か」に目を向けました。そして地域や社員の家族の声をヒントに、妊産婦の移動の不安を解消する「マタニティタクシー」、子育て層の負担軽減のために複数の子どもを相乗りして塾へ送迎する「キッズタクシー」などを展開し、好評を得ています。これらの売り上げは大きいものではありませんが、取り組みに共感するファンが生まれ、売上以上に大切な価値を得て、新規のタクシー利用者増やリピーター増に大きく貢献しています。

☞ポイント 地域課題の解決をビジネスチャンスに 「地域の人々の移動を支える」という明確な目的を持ち、地域の声に耳を傾け、ビジネスを通じた課題解決に取り組むことで、企業評価が高まり、結果として収益増につながっています。



地域の働くママと、より便利な交関の実現について意見交換の様子。マタニティタクシーは安全性能の高い専用車両で、妊娠中の方は母子手帳を提示すると1割引になるほか、事前に伝えれば破水した場合に備える防水シートやチャイルドシートなどのサービスも準備されている。

事例

3

## 地域とのコミュニケーションで「選ばれる企業」へ

### ●石井造園株式会社

(神奈川県横浜市/造園業/社員14名) <https://www.ishii-zouen.co.jp/>

地域に根ざした造園、土木工事等を担う同社。CSR経営に取り組むことで社員が育ち、地域に求められるアイデアが生まれ、それにより選ばれる企業になると考え、年間約30もの地域貢献活動に取り組んでいます。例えば、コミュニティづくりを目的にした顧客や地域の人が集うマルシェ、社員が考案した独自の緑化基金、公共工事現場の近隣住民への苗木配布などがあります。また活動をして終わりではなく、年1回、顧客・自治会・行政・取引先・地域住民などに集まってもらい開催する「CSR報告会」も行っています。日々のコミュニケーションの積み重ねが、顧客や地域との顔の見える関係性づくりにつながっています。

☞ポイント 地道に活動を続けることで信頼される企業に 「活動→報告→活動…」の好循環から地域との良好な関係性が生まれ、信頼につながっています。「頼むなら石井造園へ」と選ばれる会社になっています。



毎年恒例のCSR報告会は、社員全員が活動を報告し、参加者から意見をいただく双方向のコミュニケーションをする場となっている。